



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年8月19日

第6号



感染症に気を付けて、夏の暑さを乗り切ろう

副校長 河村淳司

全国で感染症予防対策が続く中、7月からは学校給食も始まりました。毎日の健康観察を継続し、給食当番は手指のアルコール消毒を行い、安全な配膳と食事のマナーを守りながらおいしい給食を味わって



いました。8月1日から16日までの夏休みの予定も自粛ムードのためか、例年に比べて旅行や帰省も控えられていたようです。また、学校でもプールでの水泳の学習が行われないので、少しさびしい夏の風景でした。それでも学級単位で水上での安全の学習や水辺での注意事項について学習しました。水遊びや水泳を安全に行うための知識と心構えをしっかりと身に付けて、楽しむことができるようになってほしいと考えています。

今年は、梅雨明けも遅く、前線の活動も活発で、例年に比べ降水量も多く、7月中旬には記録的な豪雨により、九州地方を中心に多くの県が被災しました。河川の氾濫や土砂崩れ等で多くの尊い命が奪われ、浸水や停電、断水等で数多くの方が被害を受けました。改めて、風水害の恐ろしさと防災意識をしっかりとって生活することの大切さを考えさせられました。

また、7月26日(日)には、朝比奈小で地域防災拠点会議が行われました。会議の参加者も人数を絞り、感染予防対策を考えた実施計画と訓練の内容、取り組み等について話し合われましたが、全国的な感染症の広がり現状を踏まえ、11月の防災拠点訓練は中止になりました。

学校では、日々の安全学習や9月の総合防災訓練などを通して、これからも、児童一人一人が自分の命を自分で守れる力を育んでいきます。まだまだ暑い日が続きます。体調管理をしっかりと行い、暑い夏を乗り切りましょう。